

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	我如古 一郎 (日本共産党)	1 農地のある 都市空間につ いて	私は、農業委員をしていて思うことは、将来の 那覇市にとって、なくてはならないものの一つ は、農地であると思う。毎年、かなりの面積の農 地が那覇市から消えていっている。潤いのある都 市空間の形成には、緑地や農地などの空間が必要 である。そこで、以下質問する (1) 市内にある農地の果たしている役割を問う (2) 本市の農業者は何名か。このうち市内で農 地を所有している農家は何軒か (3) 現在の農地面積は幾らか。市内の農地面積 は 10 年前に比べて、どのようになっている か (4) 市内の農地は今後どのようなようになってい くと考えているか。那覇市は全域が市街化区域 で、農地であっても住宅地と同じ課税であ り、土地の有効活用という点から、宅地化へ の移行は避けられない状況である。何らかの 制度を創設して、市内にある農地を保全する 意義があると思うが、見解を問う
		2 道路行政に ついて	(1) 本市の河川等に架かる橋で、本市が管理す る道路橋は幾つあるか (2) 全国でトンネルなど道路施設の老朽化と 建て替えが課題になっているが、本市は老朽 化・耐震度の調査は行っているか (3) 松城中の生徒が通学に使う橋は、鉄板が腐 食し、欄干の鉄パイプも腐食が激しいが、耐 震性を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 環境保全行政について	松くい虫対策について (1) 上間1丁目の松の大木がまた1本枯れ始めている。さらに近くの民家の巨木も完全に枯れている。松くい虫に対する総合的な防除対策を進めなければ、景観に資する立派な松が、本市から消えてしまうことになると、かねてより対策の強化を提案してきたが、どのような対策が取られているのか (2) 繁多川2丁目のウフカーの見事な松、識名園の松の健康状態を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 12 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	中 村 圭 介 (無所属の会)	教育行政について	不登校生徒の支援として行われている「きら星学級」について (1) 事業の概要(目的・対象・予算・職員数・実績)と支援内容(プログラム・平均的な支援期間及び時間)と次年度の計画について (2) 心理的・情緒的理由で不登校になった児童生徒の受入体制について (3) 那覇市内の不登校児童生徒の人数は小学校、中学校、それぞれ何人か (4) 支援内容の他部署や外部との連携について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 12 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	湧 川 朝 涉 (日 本 共 産 党)	1 学童クラブについて	学童クラブ待機児童解消計画について 当局の見解と対応を問う
		2 食育と給食について	食育（保育所、幼稚園、小学校、中学校）の 重要性について、当局の見解と対応を問う
		3 消防行政について	(1) 消防力の整備指針において、那覇市の救 急隊は何隊必要とされているのか 救急隊を増やす必要がある。当局の見解 と対応を問う (2) 消防車両整備計画、特に救急自動車の現 状について、当局の見解と対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（3日目） 平成26年12月11日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 障がい福祉サービスについて	障がい福祉サービスの支給決定のスピードアップを今年6月の代表質問で要望したところ、課題解決策の1つとして県の補助事業「地域人づくり事業」を活用し、計画相談支援の促進を図るとの答弁があったが、その後の改善状況を伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 軽度・中等度 難聴児への支援 について	障がい者認定基準に達しない軽度・中等度の難聴児に対して補聴器購入費の助成を行う自治体が全国的に増えている (1) 市内の小中学校における軽度・中等度の難聴児の数を伺う (2) 沖縄県においても、「来年度に助成を始める方針を固めた」という新聞報道が9月にあった。本市の見解を伺う (3) 本市の難聴児へのこれまでの取り組み状況、また今後の取り組みについて伺う
		3 「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」について	本年7月から支給申請受付が始まった両給付金について、受付終了期間（12月26日）が近づいている。現時点の申請受付・給付の状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 12 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	亀島 賢二郎 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	市長公約について	(1) 情報通信産業、国際物流関連産業及び観光関連産業分野等に属する企業を支援するために、銘苅庁舎跡に「なは産業支援センター」を開設するとあるが、開設までのスケジュール、また具体的な取り組みを伺う (2) 市営住宅への多子世帯の優先入居について ① 多子世帯が入居できる条件を伺う ② 多子世帯の入居者数を伺う ③ 今後、市営住宅建て替えについても多子世帯を優先的に導入していく計画はあるか (3) 待機児童に関する公約について 待機児童ゼロを目指す中で、まずは市長として何を選択し、集中的に取り組むか伺う (4) 今、あらゆる分野で人材が足りないと多くの市民の声が聞こえている 市長は、長年にわたり教職経験の中で培ってきた人材育成経験がある。 ① 今後の市長の人材育成に対する見解を伺う ② 「人材育成拠点を整備していく」とあるが、具体的な場所、運営、取り組みを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 12 月 11 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	仲 松 寛 (新 風 会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 子育て保育行政について	児童虐待について (1) 児童虐待とはどのようなものか伺う (2) 虐待が子どもに与える影響について伺う (3) 本市における児童虐待の状況は、どのようなになっているか伺う (4) 児童虐待の発見から保護支援までの対応について伺う
		2 消防行政について	(仮称)消防樋川出張所の新築工事について (1) (仮称)消防樋川出張所の建設概要について伺う (2) 同施設の設置による消防機能はどのようなになっていくのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 12 月 11 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 環境行政について	再生エネルギー導入促進のため、「住宅用太陽光発電」が導入されている。沖縄電力は、受け付け済みの再生エネルギーの接続可能量が上限の 310 メガワットを超過したとして住宅用太陽光発電（出力 10 k w 未満）を含む、全ての再生可能エネルギー設備の接続が出来なくなっている。現在の住宅用太陽光発電助成の状況について伺う。新たな助成制度を考えているのか伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 教育行政について	(1) I C T 教育の環境整備については、重要と考えるが、現在中学校 17 校に配置されている。小学校（6 学年）全クラスに電子黒板、タブレット端末（190 台）については、小学校 3 校、中学校 3 校導入されている 今後の電子黒板、タブレット端末等の配置されていない、小中学校への計画について伺う (2) I C T 環境整備の目標を目指した計画書として「教育の情報化推進計画」が策定されたのか伺う (3) 大名小学校校舎建設中であるが、6 月議会の答弁では、5 月末時点の進捗率 11.54%であったが、12 月時点では、何%なのか、新年度までには完成するのか伺う (4) 大名小学校の体育館改築工事について、6 月議会の答弁では、10 月末までに基本設計業務を完了し、12 月から実施設計に着手するとの事だが、体育館の規模と内容とスケジュールについて伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 道路建設行政 について	(5) 城北中学校の体育館改築工事について、6月議会の答弁では、10月末までに基本設計業務を完了し、12月から実施設計の着手を予定している。また、工事については、平成27年度に既体育館の解体、本体工事に着手し、平成28年度に完成する予定、とのことであった その後、現場調査後、工事計画の変更があったと聞いている。予定通り計画を進めていくのか伺う 首里石嶺町内で実施されている石嶺駅前線、城東城北線の事業計画について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（3日目） 平成26年12月11日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	多和田 栄子 (社 民 党)	1 市長の政治姿勢について	県都那覇市初の女性市長として、翁長市長からバトンを受け取った。公約に平和、こども、未来「ひと つなぐ まち」を掲げ、風格ある県都・那覇市のまちづくりのさらなる発展、及び女性の視点、女性の発想、女性の気配りを加え、協働のまちづくりを継承、発展させていくと約束をした。真っ先に取り組んでいくのは何か、伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 福祉行政について	団塊世代が75歳以上となる2025年には高齢化率が約25%となり、前期高齢者より後期高齢者数が増えると予測されている。このような社会情勢の変化で引きこもりや孤立死等の社会的孤立、生活困窮者等が大きな社会問題化している。このことを踏まえ、本市における孤立死の実態及び防止策について、以下伺う (1) 本市のひとり住まいの高齢者の数は把握されているのか (2) 孤立死の実態はどうなっているか (3) 孤立死予防の取り組みはどうなっているか
		3 更生保護女性会への活動支援について	更生保護女性会は、那覇支部、真和志支部、首里支部、小禄支部の4つの支部がある。地域での犯罪予防活動、子育て支援、青少年の健全育成活動等、更生保護の心を広めるため、他団体と連携しながら長年活動を続けており、那覇市議会への陳情も提出されている。そこで以下伺う (1) 本市の更生保護女性会に対する当局の認識と見解を伺う (2) 本市として、今後どのような支援ができるのか。伺う
		4 女性登用について	各種審議会、及び係長級以上への女性登用について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長